

2018年12月25日

2018年12月25日における基準価額変動について

いちよしアセットマネジメント株式会社

下記ファンドの基準価額が大きく変動いたしましたので、ご報告申し上げます。

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	騰落率
いちよしインフラ関連成長株ファンド	9,191	▲529	▲5.4%
いちよし中小型成長株ファンド	11,186	▲617	▲5.2%
いちよしジャパン成長株ファンド	7,796	▲477	▲5.8%

(※騰落率は少数第2位四捨五入)

今回の基準価額変動の主な要因は以下の通りです。

連休明けとなった12月25日の国内株式市場は、世界経済の減速懸念が根強い中で米政府機関の一時閉鎖やトランプ米大統領の政権運営への不透明感などを背景にリスクオフの動きが加速し、米国株式市場が大幅に続落したことを受けて、全面安の展開となりました。株式需給面でも買い手不在の状況がより強まり、外国為替市場でドル安・円高が進展したことも売りに拍車をかけたと考えられ、日経平均株価が前日比▲5.0%、TOPIXが同▲4.9%、JASDAQ指数が同▲5.8%、マザーズ指数が同▲6.7%の大幅下落となりました。

このような米国を中心とした世界的な株価下落を受けて、当ファンドの基準価格も大幅な下落となりました。しかし、現時点で世界的な景気後退リスクを株式市場が本格的に織り込むには時期尚早と考えられ、12月の米FOMC後の大幅な株価下落は内外投資家のセンチメントが過度に悪化していることが背景にあると認識しています。引き続き米国を中心とした金融市場動向、内外投資環境を見極めていく必要はありますが、米FRBも世界経済や金融環境をより注視していく姿勢を示しているほか、足元の国内外の企業業績は堅調に推移していると考えられ、金融マーケットは徐々に落ち着きを取り戻すものと判断しています。

当ファンドでは、投資環境を慎重に見極めながら、適正なポートフォリオ構築に努め、冷静な対応を行っていく方針です。

<主要指数等の動き>

	2018年12月21日	2018年12月25日	騰落率
日経平均株価	20,166.19	19,155.74	▲5.0%
TOPIX	1,488.19	1,415.55	▲4.9%
JASDAQ 指数	135.85	127.98	▲5.8%
東証マザーズ	811.07	757.02	▲6.7%

出所: Bloomberg

(※騰落率は少数第2位四捨五入)

●当資料は、いちよしアセットマネジメント株式会社で作成した金商法第13条第5項に規定する目論見書以外のその他の資料です。●当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、安全性について保証するものではありません。●当資料に記載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに今後変更されることがあります。●当資料中のグラフ、数値等は過去のものまたはシミュレーションの結果であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。●当ファンドに生じた損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。●お申し込みの際は必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認いただき、ご自身で投資の判断をしていただきますようお願いいたします。

【信託に係るリスクと費用等について】

◆投資信託のリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場価格の変動や為替の変動等により基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。

(その他の留意事項)

投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

収益分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって収益分配金の水準は、必ずしも計算期間中における投資信託の収益率を示すものではありません。

投資者の投資信託の購入価額によっては、収益分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。投資信託の購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

収益分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金の支払後の純資産は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に収益分配金の支払を行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比較して下落することになります。

◆投資信託に係る費用について(2018 年 12 月現在)

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◎ご購入時手数料・・・上限 3.24%(税込み)

投資者の皆様が投資信託の購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取るもので、商品および関連する投資環境の説明や情報提供、ならびに購入に関する事務コスト等の対価です。

◎運用管理費用(信託報酬)・・・上限 1.8792%(税込み)

投資者の皆様がその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用の対価として、受託会社は信託財産の保管・管理費用として、販売会社は運用報告書など各種書類の送付、購入後の情報提供の対価等として、それぞれ按分して受け取ります。

※ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等

●当資料は、いちよしアセットマネジメント株式会社が作成した金商法第 13 条第 5 項に規定する目論見書以外のその他の資料です。●当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、安全性について保証するものではありません。●当資料に記載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに今後変更されることがあります。●当資料中のグラフ、数値等は過去のものまたはシミュレーションの結果であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。●当ファンドに生じた損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。●お申し込みの際は必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認いただき、ご自身で投資の判断をしていただきますようお願いいたします。

が別途かかりますが、投資信託証券の実際の組入れ比率により変動します。(これは上記の上限料率に含まれていません)

◎信託財産留保額・・・上限 0.3%

投資者の皆様が投資信託を換金する際等に負担します。換金(解約)によって信託財産内で発生するコストをその投資者自身が負担する趣旨で設けられています。

◎その他の費用

上記の他に、「監査費用」、「有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「海外での資産の保管等に要する諸費用」等、を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。

これらの費用は運用状況等により変動するため、料率、上限額等をあらかじめ表示することができません。

※上記、ファンド費用の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

【ご注意】

- ・上記に記載するリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、いちよしアセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資の際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。
- ・投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

●設定・運用は

いちよしアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第 426 号
[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会 /
一般社団法人 日本投資顧問業協会

●当資料は、いちよしアセットマネジメント株式会社が作成した金商法第 13 条第 5 項に規定する目論見書以外のその他の資料です。●当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、安全性について保証するものではありません。●当資料に記載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに今後変更されることがあります。●当資料中のグラフ、数値等は過去のものまたはシミュレーションの結果であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。●当ファンドに生じた損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。●お申し込みの際は必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認いただき、ご自身で投資の判断をしていただきますようお願いいたします。